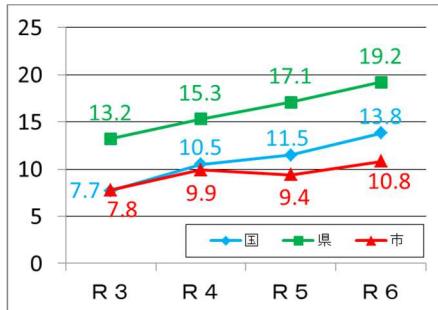


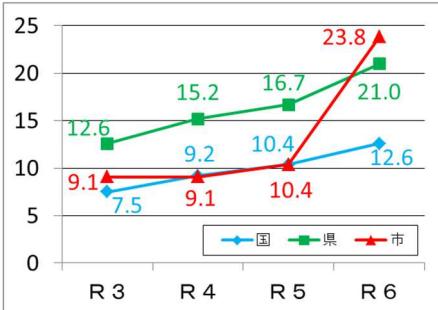
令和6年度「東広島市立小中学校における生徒指導上の諸課題」の現状について

1 「暴力行為」の発生件数について

【小学校/1,000人あたりの発生件数】



【中学校/1,000人あたりの発生件数】



【本市の暴力行為発生件数】

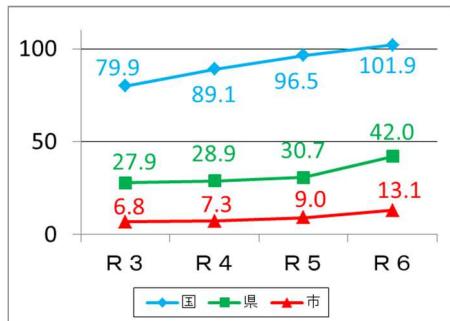
	小学校	中学校
R 3	9 0	4 4
R 4	1 1 9 (6 9)	4 5 (2 9)
R 5	1 0 5 (5 7)	5 1 (3 3)
R 6	1 1 9 (6 0)	1 1 7 (7 4)
R 7	(1 0 3)	(6 1)

※()内は10月末の数値

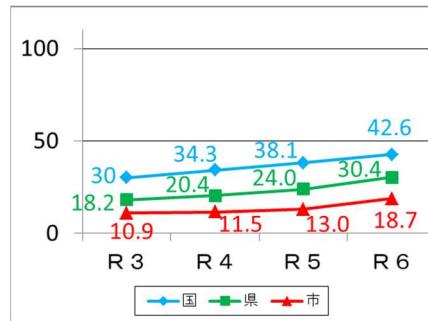
- 令和6年度の本市の暴力行為の発生件数は、前年度と比較すると、小学校は約13%増加、中学校は約129%増と大きく増加している。

2 「いじめ」の認知件数について

【小学校/1,000人あたりの認知件数】



【中学校/1,000人あたりの認知件数】



【本市のいじめの認知件数】

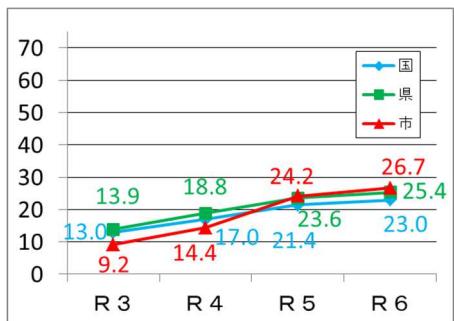
	小学校	中学校
R 3	7 8	5 3
R 4	8 2 (5 5)	5 7 (2 9)
R 5	1 0 1 (6 0)	6 4 (4 1)
R 6	1 4 4 (7 8)	9 2 (6 4)
R 7	(8 8)	(3 9)

※()内は10月末の数値

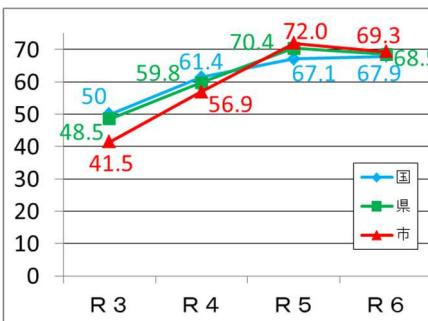
- 令和6年度の本市のいじめの認知件数は、前年度と比較すると、小学校は約43%増、中学校は約44%増で、ともに増加している。

3 「不登校」の児童生徒数について

【小学校/1,000人あたりの不登校児童数】



【中学校/1,000人あたりの不登校生徒数】



【本市の不登校児童生徒数】

	小学校	中学校
R 3	1 0 5	2 0 2
R 4	1 6 3 (8 3)	2 8 3 (1 7 2)
R 5	2 7 1 (1 3 2)	3 5 4 (2 4 9)
R 6	2 9 3 (1 7 5)	3 4 1 (2 1 6)
R 7	(1 5 7)	(2 2 9)

※()内は10月末の数値

- 令和6年度の本市の不登校児童生徒数は、前年度と比較すると、小学校は約8%増加し、中学校は約4%減少している。
- 不登校児童生徒のうち、専門的な相談・指導等を受けていない割合は、市41.0%（R5:49.4%）、国38.3%（R5:38.8%）であり、このうち、教職員から継続的な相談・指導を受けた割合は、市97.3%（R5:96.4%）、国89.0%（R5:89.1%）であった。